

ニューヨークタイムズの記事を契機とした 県の取組について

- 米有力紙のニューヨークタイムズが、「2024年に行くべき52か所」を公表し、3番目に「山口市」を選出



インバウンドの誘客をはじめ、本県にとって大きなチャンスとなることから、山口市との連携のもと、県内周遊にもつながるよう効果的なプロモーションや受入環境の整備に取り組んでいく。

当面の県の取組例

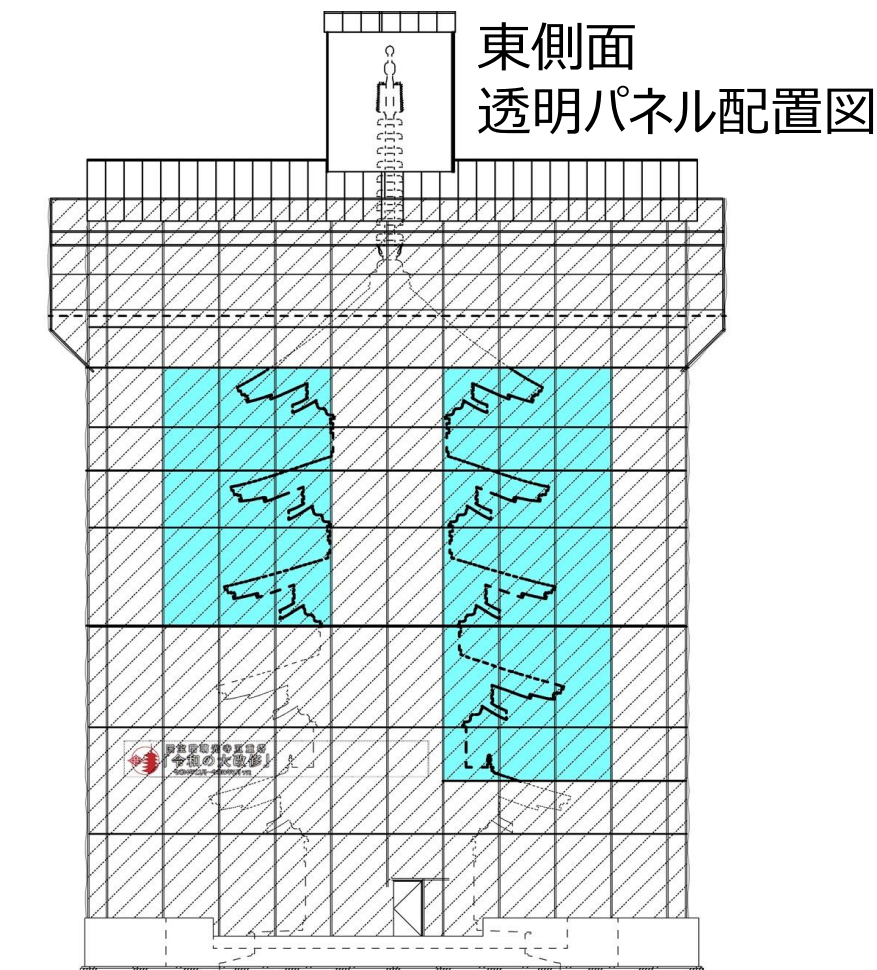
- 県観光連盟ホームページに特集ページ開設
- ターゲティング広告やSNS等による集中的な情報発信
- 東京情報発信会での発信強化
- 山口市との連絡調整会議の開催 等



瑠璃光寺五重塔の受入環境の整備

- 外壁シートの一部を透明パネルに取替
- 改修作業を見ることができるモニターの設置

「令和の大改修」の様子を
見学可能に！



なぜ今？ 瑠璃光寺五重塔

約70年ぶりとなる「令和の大改修」の今だけ体験できる、
大内文化を感じる特別プログラムを実施中
(山口市の取組)

取組の一例

プロジェクション マッピング

五重塔の外壁シートを活用した
プロジェクションマッピングを行い、幻想的
な空間の中で大内氏の世界観を感じる
(1/19~1/28)



A R 動画 「切り絵で魅せる五重塔」

スマホアプリで外壁シートを読み取ると、
切り絵クリエイターによるアートが出現



大内氏と五重塔がわかる 時代絵巻

改修中の工事用仮囲いに全長27m
の「時代絵巻」を提示



県は、こうした取組を国内外にむけて積極的に情報発信